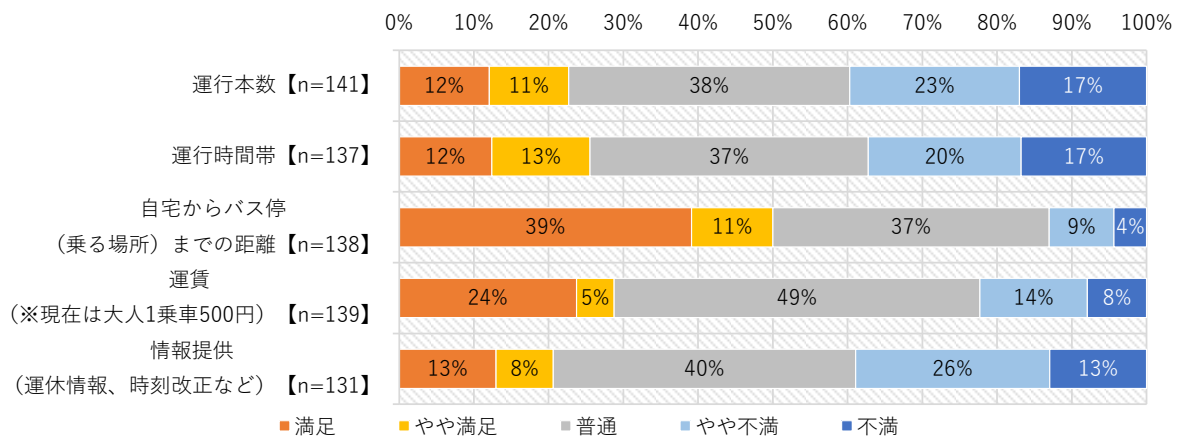


## 2-4. 利用促進につながる情報発信の取組

九重町のコミュニティバスや路線バスについて、運行本数、運行時間帯、情報提供が特に利用者の不満が高い項目となっています。

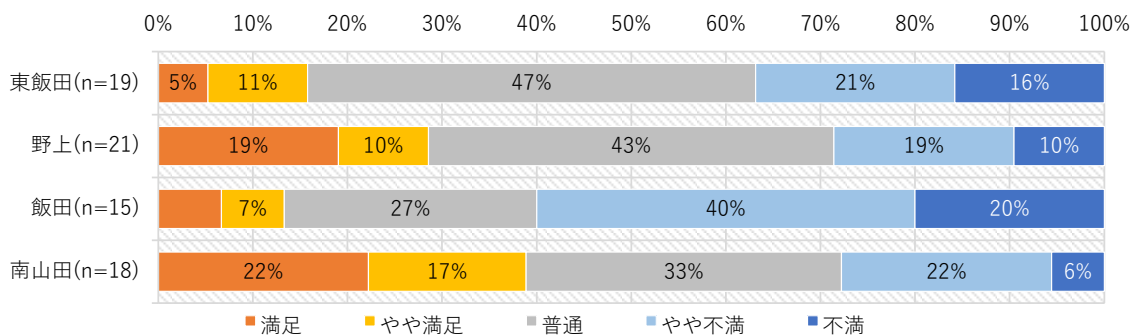
地域別にみると、運行本数への不満は飯田地域で特に高く、宝泉寺線の沿線である東飯田、南山田地域の倍程度となっています。

一方、飯田地域は情報提供について不満とする回答が多くなっています。飯田地域を運行する九重縦断線が町内でも運行頻度が高い路線であることを考えると、運行情報が十分に提供できていないことが懸念されます。



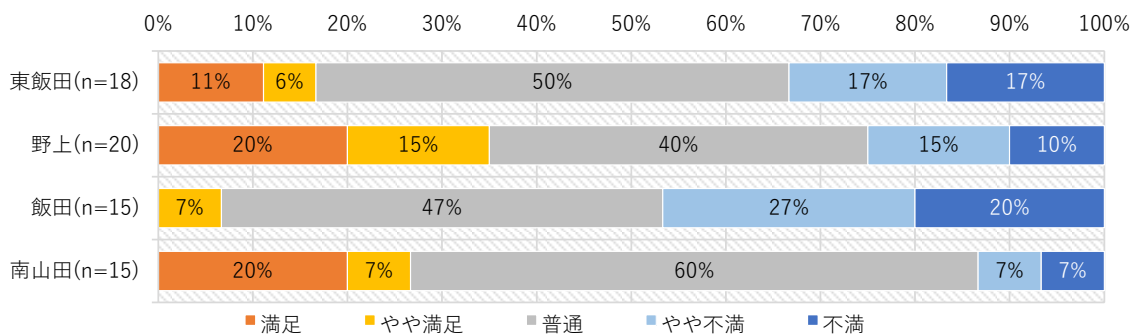
出典：住民アンケート

図 0-1 コミュニティバスの利用満足度



出典：住民アンケート

図 0-2 運行本数についての満足度



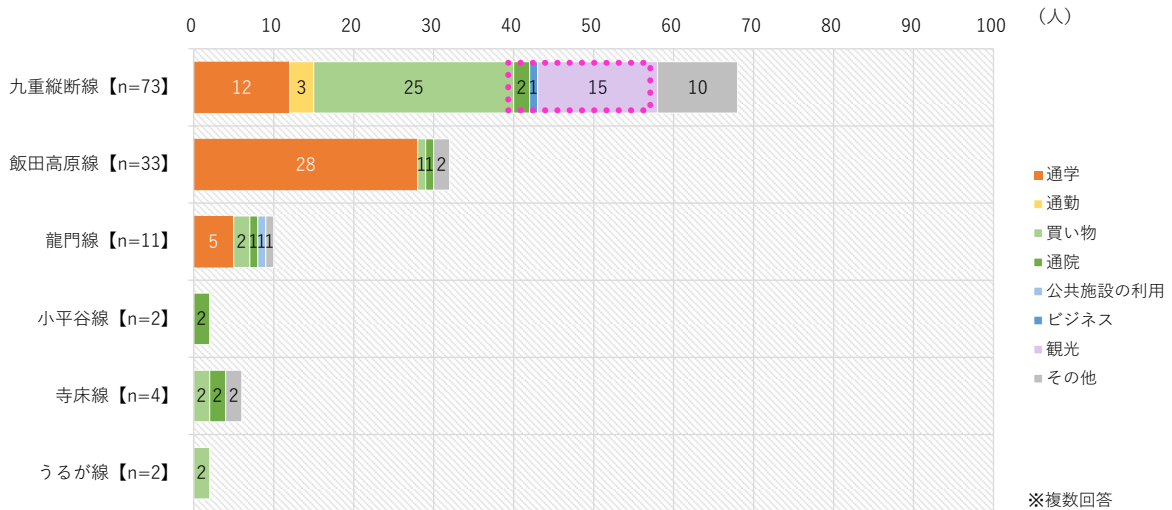
出典：住民アンケート

図 0-3 情報提供についての満足度

## 2-6. 国内外の観光客が利用しやすい観光アクセスの構築

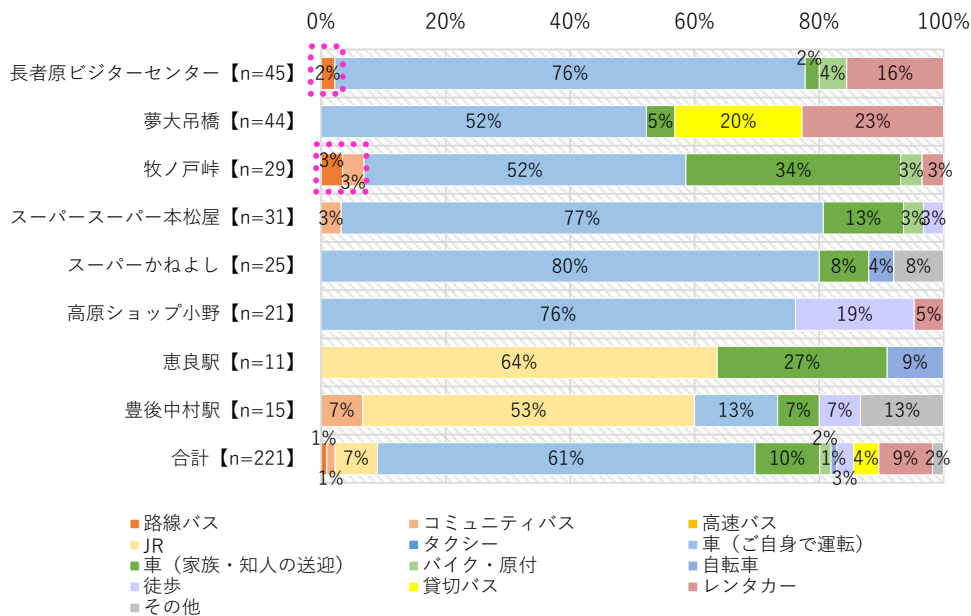
九重縦断線では、牧ノ戸や飯田高原・筋湯への観光目的での利用者が存在し、コミュニティバス利用者アンケート調査時の利用者の2割程度を占めています。

町内の施設来訪者に対するアンケート調査においても長者原や牧ノ戸峠における来訪者の5%前後を公共交通の利用者で占めており、九重町観光における移動手段として認知されていることが確認できます。そのため、九重縦断線については、生活交通路線としての利便性に加え、**観光交通路線としての利便性についても考慮していく必要があります。**



出典：コミュニティバス利用者アンケート調査

図 0-4 移動目的 (路線別)



出典：施設来訪者アンケート調査

図 0-5 対象施設へ来るまでの移動手段

事業名	公共交通のDX化による利便性向上						
事業概要	九重町では、町のホームページにて町内の公共交通に関する路線図や時刻表などの情報提供を行っていますが、国内外からの観光来訪者への情報提供が不足している状況です。そこで、九重町のコミュニティバス（九重縦断線等）の運行情報について、標準的なバス情報フォーマット（GTFS）への対応や、リアルタイムにバスの運行情報を提供するバスロケーションシステムの導入を検討するなど、デジタルトランスフォーメーション（DX）化による利便性の向上を図ります。						
実施主体 実施時期	実施主体	スケジュール					
		令和 6年度	7年度	8年度	9年度	10年度	11年度
	九重町	バスロケーションシステム等の導入の検討					
交通事業者							

事業名	観光施策と連携した移動サービスの提供						
事業概要	観光部局や観光事業者と連携し、交通と観光が一体となったサービスの提供を図ります。関係機関との協力体制を構築し、 <u>バス停の多言語化や国内外に向けた情報発信など</u> 、観光振興に繋がるような施策を検討します。また、紅葉シャトルバス等の観光に特化した移動サービスとの連携を進め、交通資源の有効活用を図ります。						
実施主体 実施時期	実施主体	スケジュール					
		令和 6年度	7年度	8年度	9年度	10年度	11年度
	九重町	検討→段階的に実施					
交通事業者							
観光事業者							

## 第4章 実施事業

九重町における公共交通網の目標および将来像の達成に向け、基本方針に基づいて、設定した個別事業を以下に示します。

各事業は、記載する実施主体が事業を推進するものとしますが、本計画期間内においても事業の有効性等を鑑みて、随時、実施事業及び事業内容は見直しを行います。

★：九重町地域公共交通網形成計画からの継続事業 (p67, 68 参照)

計画目標	
実施事業	実施主体
<b>① 様々な交通モードの連携強化による利用しやすい地域公共交通網の構築</b>	
★住民・来訪者の移動に対応した幹線バス路線の運行 ↳(1)-①を継続	九重町、 交通事業者
★九重町コミュニティバスと鉄道・高速バス等との接続改善 ↳(1)-①を継続	九重町、 交通事業者
★公共交通のDX化による利便性向上 ↳(2)-⑦を継続	九重町、 交通事業者
★観光施策と連携した移動サービスの提供 ↳(2)-⑧を継続	九重町、交通事業者、 観光事業者

事業名	公共交通のDX化による利便性向上						
事業概要	九重町では、町のホームページにて町内の公共交通に関する路線図や時刻表などの情報提供を行っていますが、国内外からの観光来訪者への情報提供が不足している状況です。そこで、九重町のコミュニティバス（九重縦断線等）の運行情報について、標準的なバス情報フォーマット（GTFIS）への対応や、リアルタイムにバスの運行情報を提供するバスロケーションシステムの導入を検討するなど、デジタルトランスフォーメーション（DX）化による利便性の向上を図ります。						
実施主体 実施時期	実施主体	スケジュール					
		令和 6年度	7年度	8年度	9年度	10年度	11年度
	九重町 交通事業者	バスロケーションシステム等の導入の検討					

## (8) 公共交通の見直しについて

公共交通の見直しについて、見直しが必要と考えられている項目の上位は、「鉄道とバス、バス同士の乗り継ぎ改善」17.7%、「主要施設の循環」16.2%、「集落をきめ細かく運行（自宅近くの運行）」15.4%、「町内中心部、駅への直通運行」14.2%となっている。

5位以下は、「運行本数の増加」13.2%、「いつでも利用できる」12.6%、「運賃を安く」12.6%となっている。

乗り継ぎ改善に対する要望、きめ細やかな運行ルートに対する要望、自宅近くから利用できる運行への要望（デマンドへの要望）が高くなっている。

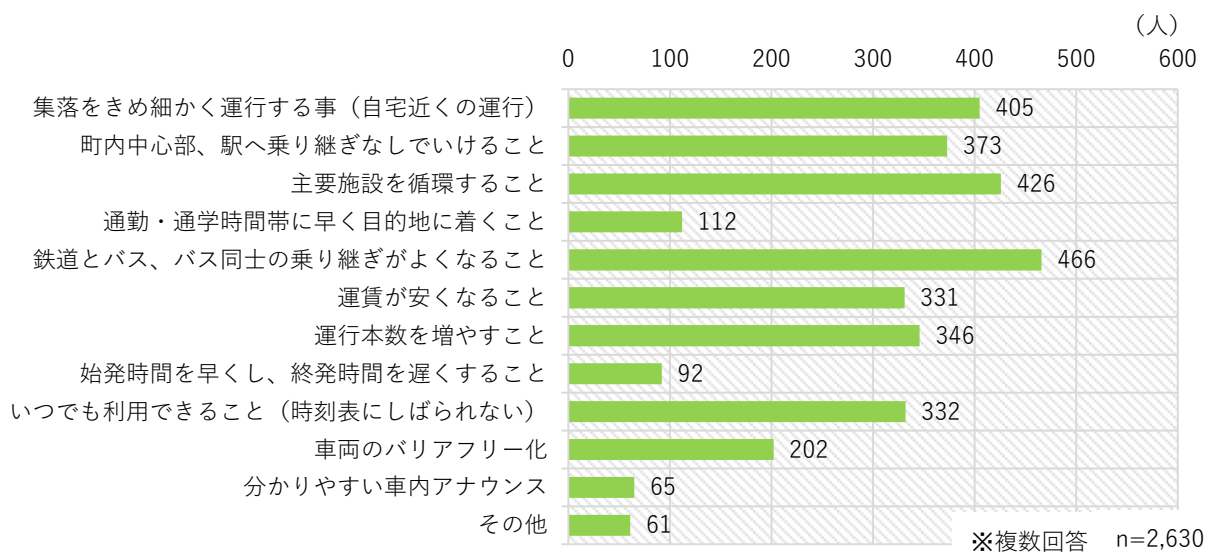


図 0-1 公共交通の見直し (実数)

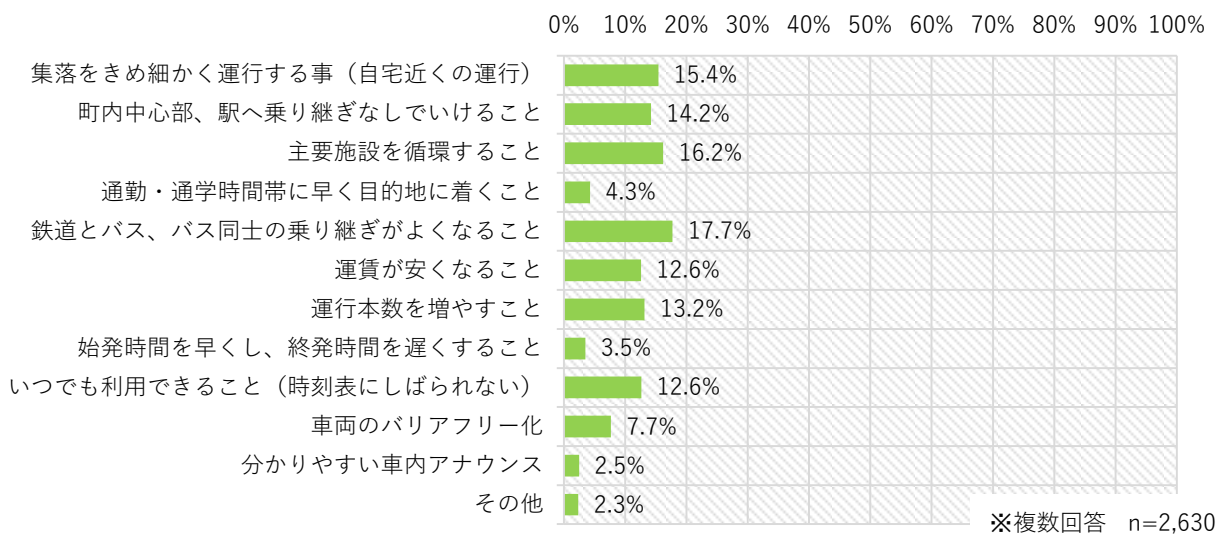


図 0-2 公共交通の見直し (割合)

<b>事業名</b>	<b>住民・来訪者の移動に対応した幹線バス路線の運行</b>						
<b>事業概要</b>	定時定路線運行を行う路線バス・コミュニティバスの内、町内の幹線的な役割を担う九重縦断線や宝泉寺線について、 <u>利用状況や移動ニーズに応じて運行路線やダイヤの見直しを行います。</u>						
<b>実施主体 実施時期</b>	実施主体	スケジュール					
		令和 6年度	7年度	8年度	9年度	10年度	11年度
	九重町 交通事業者	運行路線やダイヤの見直しを適宜実施					

<b>事業名</b>	<b>九重町コミュニティバスと鉄道・高速バス等との接続改善</b>						
<b>事業概要</b>	コミュニティバス利用者は他交通への乗り継ぎに対するニーズが高いことから、 <u>コミュニティバスと路線バス・高速バス、JRとの接続改善を図り、利便性を向上させます。</u>						
<b>実施主体 実施時期</b>	実施主体	スケジュール					
		令和 6年度	7年度	8年度	9年度	10年度	11年度
	九重町 交通事業者	ダイヤの見直しを適宜実施					

<b>事業名</b>	<b>公共交通の持続的な運行に向けた人材確保支援</b>						
<b>事業概要</b>	コミュニティバスや路線バス等、公共交通の持続的な運行においては、運転者人材の確保が重要な問題です。そのため、その <u>資格取得に向けた各種支援策について検討し、支援策の導入推進を目指します。</u>						
<b>実施主体 実施時期</b>	実施主体	スケジュール					
		令和 6年度	7年度	8年度	9年度	10年度	11年度
	九重町 交通事業者	資格取得の支援策の 検討・準備		資格取得の支援策の実施			